

## Experience 研修情報紹介

## 平成30年度良質な医師を育てる研修

国立病院機構では、毎年、多彩な内容で「良質な医師を育てる研修」を開催しています。豊富な経験を持つ先生方が講師を担当。実践的なスキルが身につく充実の内容です。今回は2018年8月に行われた「シミュレーターを使った実践研修～CV挿入～」と、同年11月に行われた「脳卒中関連疾患 診療能力パワーアップセミナー」をご紹介します。

## 「シミュレーターを使った実践研修～CV挿入」

中心静脈穿刺は医療の基本手技であり、現代医療のさまざまな分野で利用されています。超音波を使えば、多数回の穿刺を避け、より安全かつ確実に穿刺ができるため、「エコーを使った中心静脈穿刺」は、近年急速に普及した手技と言えるでしょう。

今回はシミュレーターを用い、CV挿入の実技が学べる研修を行いました。指導医・研修医ともにスキルアップにつながる実践的な内容です。指導者養成コースは、1日の研修会で学会認定インストラクターの申請が可能です。午後からスタートしたシミュレーター実践コースは、少人数制のセミナー。各自が繰り返し練習しながら、具体的な手順とコツが学べたと好評のうちに終了しました。

## 参加者の声

## 〈参加者の声 1〉

エコーで実際に血管走行を確認しながら手技ができたのが良かった。同様の研修があれば、是非また受講したいと思います。

## 〈参加者の声 2〉

講師の先生に質問しやすく、とても丁寧に分かりやすく説明していただきました。そのうえ、いろいろなアドバイスを頂戴し、感謝しています。大変貴重な経験をありがとうございました。

## 〈参加者の声 3〉

CV挿入は未経験でしたが、今回の研修でエコーガイド下の手順とコツを具体的に知ることができました。機会があれば今回学んだことを臨床現場で活かしていきたいです。

## 〈参加者の声 4〉

手技がメインだったので、飽きずに学ぶことができました。エコーがない地方病院などでは、ラ

ンドマーク法を行う可能性があるので、時間があればそちらも練習してみたかったです。

## 〈参加者の声 5〉

少人数制のCV実習だったので指導医から直接手技を教えることができ、勉強になりました。

## 〈参加者の声 6〉

シミュレーターを使って何度も練習することができました。グループに人形が2つだったので、エコーも2つずつならさらに良かったです。

## 〈参加者の声 7〉

さまざまな方法が実践できて有意義でした。何度も繰り返し練習できたので、どういう場合に何が起こるのかをリアルに理解でき、非常に役に立つ研修でした。

## 〈参加者の声 8〉

実習の時間がもう少しあり、PICC挿入も一緒に学べると良いと感じました。CVボートの臨床的役割などの講義も聴いてみたかったです。

## 平成30年度 良質な医師を育てる研修

## 「シミュレーターを使った実践研修～CV挿入」

## 対象：①指導者養成コース

所属病院で研修医を指導している医師（指導医）

※養成コース研修を受けることにより、今後

「エコーを使った中心静脈穿刺手技」の指導

医として活動が期待される医師を含む

## 【受講要件】

日本医学シミュレーション学会への入会

(A会員：年会費8,000円)

本研修会を修了することで学会認定インストラクターの申請が可能

## ②シミュレーター実践コース

初期研修医、後期研修医

日時：平成30年8月10日（金）

会場：国立病院機構九州医療センター

参加者：指導者養成コース：3名／実践コース：12名

## ■ 研修内容

## ①指導者養成コース

午前：オリエンテーション

講義

午後：指導者としてCVC実践セミナー

1ブース受講者3名のハンズオントレーニングを実践

## ②シミュレーター実践コース

午後：CVC実践セミナーに参加

1ブース受講者3名のハンズオントレーニングを受講





## Experience 研修情報紹介

## 「脳卒中関連疾患 診療能力パワーアップセミナー」

高齢化社会において脳血管障害は、脳卒中救急から脳血管性認知症まで診療機会の多い疾患です。また、脳卒中診療においては、診断、内科的治療、血管内治療など、いずれも近年の進歩は著しいものがあり、ガイドラインなどもどんどん更新されています。最新の情報や医療技術を習得・理解することは、研修医はもちろん、若手医師にとっては一般診療を行ううえで必須でしょう。

そこで、今回の「脳卒中関連疾患パワーアップセミナー」では、2日間にわたり、グループワーク、ハンズオンなどを通して、神経診察法・検査法・治療法のアップ・トゥ・デートを学び、脳卒中を始めとする神経疾患の診療能力を向上させることを目的としたプログラムを企画しました。北海道・東北グループを中心に、経験豊富な講師が全国から集まり、実践的な内容になりました。

急性期の診療およびNHSSの取り方のコツに関するグループワークや、エコーを使った神経超音波検査の実習は特に好評でした。懇親会でも活発な議論が交わされ、所属病院以外の研修医同士が交流する有意義な場になりました。

## 平成30年度 良質な医師を育てる研修

## 「脳卒中関連疾患 診療能力パワーアップセミナー」

対象：初期研修医、後期研修医、卒後10年未満の医師  
日時：平成30年11月2日(金)～3日(土)  
会場：国立病院機構仙台医療センター  
参加者：28名

## ■ 研修内容

## 1日目

- ・グループワーク①「脳卒中急性期の診療」
- ・グループワーク②「慢性期症例に対する治療」
- ・デモンストレーション「TRevoハンズオン」
- ・ライブ「頸動脈ステント留置術(CAS)」
- ・アフタヌーンセミナー「正しい日本語をしよう」
- ・パネルディスカッション「この症例をどうするか」  
ミニ解説NHSS、ASPECTSガイドライン

## 2日目

- ・グループワーク③「脳卒中の内科的治療」
- ・実習「脳卒中の血管内治療ハンズオン」
- ・ランチョンセミナー「GCS、JCSの取り方」
- ・グループワーク④「NHSSの取り方のコツ」
- ・実習「神経超音波検査、頸動脈および経頭蓋エコー」

## 参加者の声

## 〈参加者の声 1〉

グループワークが多かったので、ディスカッションを通して、自分の思い込みに気づいたり、他施設の検査・治療の手順を知ることができました。新しい知見が得られ、とても有意義でした。

## 〈参加者の声 2〉

ハンズオン(実習)を通じて、治療の実感を体験できたのが楽しく、ためになりました。治療の実感が湧き、今後の参考になりそうです。

## 〈参加者の声 3〉

脳卒中診療のプロトコルを知ることができ、非常に参考になりました。ガイドライン改定に合わせて最新情報を学べた点も良かったです。

## 〈参加者の声 4〉

ハンズオンやグループワークなど座学以外の実習が多かったので、積極的に学ぶことができました。ここで得た知識をもとに、神経内科での研修をより濃厚にしていきたいと思えます。

## 〈参加者の声 5〉

内科医として脳卒中診療を行っています。基本から見直すことができ、勉強になりました。外科・内科それぞれから学べた点も良かったです。充実した2日間をありがとうございました。

## 〈参加者の声 6〉

グループワークとハンズオンのバランスがよく、時間のロスを最小限にしながら、より多くのことを学べた点が大変ありがたかったです。

## 〈参加者の声 7〉

他施設の研修医や専門医と話げできました。同年数の先生方がよく勉強されているのを知って、自分自身のモチベーションも上がりました。

## 〈参加者の声 8〉

先生方の講義がとても分かりやすく、実臨床にすぐ導入できる知識ばかりでためになりました。脳卒中に関してとことん勉強できました。

